

## 経営者への活きた言葉

「とりあえず」からの脱皮 清水 勝彦(慶応大学院経営管理研究所教授)  
遠藤 功(早稲田大学ビジネススクール教授)

清水「今、どの企業もアジアに成長を求めていると言っていいでしょう。私もいくつかのプロジェクトに  
関与して関係者にインタビュー調査しています。その中で、日本の会社で、  
一番国際化していないのは本社。タイや中国の現場は頑張っているのに、本社が機能しておらず、  
現場の実情が分かっていないというケースが目立ちます。」

遠藤「それは権限のない現場、情報のない本社という問題です。これが日本の組織運営を悪くしています。  
進出先の実情を分かっている現場には権限がないから、決められない。権限はあるが、  
肝心の情報がなく本社が悪さをしている。この構造を変えていかなければならない。本社は何を  
するところなのか。現場は何をするところなのか。その役割分担を明確にすることが求められていま

清水「国内でも海外でも、日本企業は資産や能力を生かせていない。小さな会社はまだ能力のある社員が  
分かるので、引っ張っていきやすい。大きい会社には能力の高い人がたくさんいますが、  
皮肉にもそれが見えにくいから埋もれてしまって、残念な結果になっているところが多い。」

遠藤「目指すべき姿がないまま、とりあえずやってみたらこの位伸びました、というのが現実。それは単に  
成長に乗っかっているだけで、自ら成長を作り出しているわけではない。」

(参考:「日経ビジネス」2013年2月18日号)

## 経営者のための社会学

## 海外で暮らす日本人増える

1. 海外で暮らす日本人が増えている。海外に住む日本人は2011年10月時点で118万人。  
前年比で3%増加している。2010年と2009年は1%増だったので増え方は加速している。  
地域別に見ると、45万人いる北米が最も多いが、次がアジアの33万人。アジアは5年前に  
比べ19%も増えており、全体の伸び率11%を大きく上回る。アジアで暮らす日本人が増えているのだ。
2. 2011年3月の東日本大震災後、移住への関心が大きく高まった。以前は富裕層が中心だったが、  
今は広がりが出てきている。「介護」を目的として移住も増えている。認知症の母親の介護に  
日本では月33万円かかったが、マレーシアでは10万円ほどで済んでいる。  
「年金」を手元にした海外移住も活発だ。「働く」目的でアジアに暮らす人も増えている。

(参考:「週刊東洋経済」2013年2月9日号)